

No.08

2021 夏号

KENWAKAI  
HOSPITAL  
MAGAZINE

# ゆめかなえ

健和会病院 広報誌

特集 | 糖尿病と言われたら  
その日のうちに  
納得の治療を

熊谷悦子 医師





糖尿病になってしまったら

# 1DAY・1STOPで 納得の治療を

## 健和会病院糖尿病センター（糖尿病内科）について

健和会病院では、2020年4月27日より糖尿病センター（糖尿病内科）を開設しています。

当外来の特徴として、1回の受診で医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士などといった多職種で集中して対応することにより、スピード感をもって治療することができます。また、予約枠は一枠30分の枠を設けており、医師の診療をじっくりと受けることができます。

糖尿病は、インスリンが十分に働かないために、血液中を流れるブドウ糖とい

う糖（血糖）が増えてしまう病気です。インスリンは血糖を一定の範囲におさめる働きを担うホルモンです。インスリンの効き目が弱くなると、血糖を血液中からエネルギーとして体内に取り込めなくなってしまう、高血糖が長く続くことで合併症を引き起こすこともあります。

糖尿病は初期段階ではほとんど自覚症状がないのが特徴です。早めの対処で血糖コントロールをすることが大事です。そのため、きちんと健康診断を受け、糖尿病の疑いがある場合にはただちに受診することをおすすめします。

糖尿病治療でもっとも重要なのは、

治療を中断しないことです。積極的に治療を受けましょう。一度発症すると完全に治ることがないため、生涯を通してうまく付き合っていくことが大切です。

まず当外来へ受診していただくためには、地域の保健師、かかりつけ開業医からの紹介、当院の外来主治医からの紹介があり、地域からの紹介は、当院の地域連携室経由で予約を取って頂きます。

予約から当日受診までの流れは、地域からの紹介の場合、予約が入ると地域連携室から患者さんに予約票、受診の案内が郵送されます。当院外来からの紹介は予約センターで予約をとり、予約票、受診の案内をお渡しします。

くまがい えつこ  
**熊谷悦子 医師 経歴**

新潟県出身  
新潟大学医学部卒業

1986年 健和会病院着任  
2003年 全国腎疾患管理懇談会代表世話人  
2005年 当院血液センター部長  
2019年 当院副院長就任

**最近の論文（筆頭著者）**

【掲載誌】Therapeutic Apheresis and Dialysis  
【発行日】20 January 2021

Effectiveness of monitoring free carnitine levels for L-carnitine supplementation in hemodialysis patients to maintain carnitine sufficiency and nutritional factors

【邦題】透析患者における、カルニチン充足および栄養因子の維持を目的としたL-カルニチン補充療法のための遊離カルニチン測定の有効性

**主な所属学会**

日本内科学会（認定医、総合内科専門医）  
日本透析医学会（専門医、指導医）  
日本糖尿病学会（専門医、評議員）  
日本循環器学会（循環器専門医）  
日本腎臓病学会

当日は、様々な検査（採血、採尿、心電図、胸部レントゲン、眼底検査、ABI）や問診を受けて頂きますので、予約時間の90分前に来院をお願いしています。諸検査を受けていただき、採血結果待ちの間に、糖尿病療養指導士からの問診（身体所見、生活状況、ライフスタイル、家族歴、既往歴など）をおこなったうえで、医師の診察となります。医師の診察後に医師の指示で栄養指導、薬物指導、検査（リブレ）など、また必要に応じてその他の指導などを受けて頂くことがあります。

紹介から受診まで

地域の保健師・開業医からの紹介

健和会病院地域連携室経由で予約

予約票・受診のご案内の郵送

受診

当日の流れ

予約時間の90分前に来院

受付

検査

（採血・採尿・心電図・ABI・眼底検査・胸部レントゲンなど）

問診

（糖尿病療養指導士）

診察

必要な指導

（薬物・栄養・生活指導、糖尿病指導士からの指導）

次回予約など

## 糖尿病センター専門スタッフ紹介



### 管理栄養士：佐々木朱美（栄養相談）

食の正しい知識や情報を伝える事で、患者さん自身が自ら考え、選択できる力をつけて頂けるような栄養相談を心掛けています。患者さん 1 人の年齢や職業、生活環境を大切に、それぞれの想いに添った食生活を患者さんと一緒に考え、サポートしていきます。

### 薬剤師：壬生利恵子（薬物指導）

糖尿病の治療薬は内服薬と注射薬があります。主に注射薬の開始時に自己注射の手技と薬剤の種類や副作用、注意することなどの説明をします。以前は注射薬といえばインスリン注射だけでしたが、現在はインスリン注射以外の注射薬もあります。また、インスリン注射の種類も増えており、注射の回数なども様々です。患者さんが正しく理解し、安全に使用できる事を目的としています。



### 臨床検査技師：小倉沙恵

リブレ（CGM：持続グルコースモニタリング）の装着、検査説明を担当します。直径 35 mm 程度のセンサーを上腕に 2 週間装着することで連続的にグルコース値のモニタリングが出来ます。センサーが自動的に 15 分おきに測定するので、昼夜を通して高血糖、低血糖及びグルコース変動が分かります。連続的に測定することでHbA1cだけでは分からない「血糖コントロールの質」を把握でき、より質の良い血糖コントロールへ繋げることが出来ます。

### 理学療法士：松下純枝（運動指導）

現在の生活の様子をお聞きし、運動習慣やスポーツ歴などから、その人その人に合わせて実施可能で継続できる方法を提案できるように心掛けています。特別な運動でなくても、生活動作から運動に繋がる動きなどもお話しさせていただきます。



### 糖尿病療養指導士：中島裕子

患者さんが良好な代謝コントロールを維持し、合併症の発症を予防、進展を抑制し、生涯に渡る自己管理のサポートをします。患者さんに医師からの治療方針を正しく適切に伝え、自己管理出来るように、丁寧な説明に心掛けています。患者さんのみならず、ご家族、地域、多職種と連携して支援していきます。



一人ひとりの患者さんが自己管理できるように丁寧な説明を心掛けています。



## 糖尿病内科のご案内

毎週月曜日 新患枠 10:00 / 10:30

再診枠 11:00 / 11:30

早めの受診をご希望の方はご相談ください。

お問い合わせ 地域連携室

☎ 0265-23-3269

## TOPIC

### 第39回健和会健康まつり医療講演会

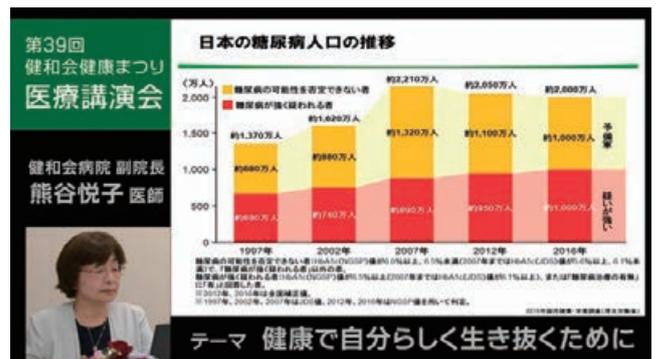
## 熊谷悦子医師による

# 「健康で自分らしく生き抜くために」



YouTubeで見る

第39回健和会健康まつり医療講演「健康で自分らしく生き抜くために」を動画配信サイトYouTubeにて配信しています。当院副院長の熊谷悦子医師が健和会糖尿病センター担当で日本糖尿病療養指導士の中島裕子看護師との対談形式で、対策をしていけば日本人の寿命はまだまだ伸ばせることや、当院の糖尿病センターの取り組みについて分かりやすく説明しています。ぜひご視聴ください。





## 「縁の下の力持ち」 病理診断科

病理診断科とは、患者さんの病変部から採取された組織や細胞などの検体や、手術で切除された臓器に対して肉眼的・顕微鏡的に検索を行い、病理診断を下すのが主な仕事です。病理とは病の理（ことわり）を説く学問で、病理診断は病名の決定や治療方針の決定に重要な役割を果たしています。

病理医は、Doctor of doctorsと言われることもあり、かつて病理医というと大学の病理学講座に所属し、主な仕事は病理解剖でした。近年では病理解剖数は年々減少していますが、一方で外科的生検組織を組織学的に診断する外科病理学の発達により、病理の需要は増えてきています。従来病理診断科は、患者さんと直接接することがないため診療科と認められませんでした。医療現場での役割の重要性が増したことにより、2008年度より診療標榜科として認められました。病理は病院の機能上必須の存在とされており、「縁の下の力持ち」ともいえる部門です。



## 充実した病理診断体制

健和会病院病理診断科は現在病理医 2 名、細胞検査士 3 名、病理担当検査技師 1 名の体制で診断業務を行っています。健和会病院は病床数 199 床の病院で、この規模の病院としてはかなり充実した病理診断体制を確保できています。若手臨床医の着任に伴い、腎生検や EUS-FNA(超音波内視鏡下穿刺吸引法)も定期的に行われています。当院病理診断科では臨床医とのカンファレンスに重点を置き、毎週の外科カンファレンスや月 2 回の内視鏡カンファレンスを実施し、診断や治療方針に関して臨床医と議論を行い、医療の質の向上に努めています。現在病理の分野は日進月歩で進んでおり、HE 染色<sup>1)</sup>による形態診断に加え、免疫組織化学染色<sup>2)</sup>・フローサイトメトリー<sup>3)</sup>や遺伝子解析などが特定の診断名において重視されるようになりました。健和会病院でできない検査については、検査センターや他施設と連携をとりながら、正確かつ精度の高い病理診断を行える体制作りをしています。

〈参考〉

- 1)ヘマトキシリン・エオジン染色(以下 HE 染色) …… 病理組織学的診断のファーストステップで必要となる基本的な染色法で、病理診断はこの HE 染色を行った組織標本によって診断されています。
- 2)免疫組織化学染色 (IHC) …………… 構造が保持されている組織サンプルでタンパク質の発現を解析する、抗体ベースの技法です。
- 3)フローサイトメトリー (flow cytometry) …… 微細な粒子を流体中に分散させ、その流体を細く流して、個々の粒子を光学的に分析する測定手法のことです。



## 新しくなったMRIの特徴

(フィリップス1.5T 超電導 MRI装置 Achieva(アチーバ)1.5T)

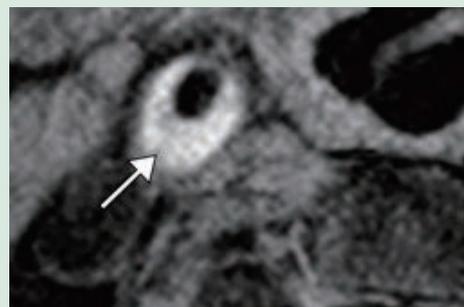
当院では、2020年6月に13年間使用してきたMRI装置のバージョンアップを行いました。磁石部分は変わっていませんが、その他が最新機種と同等の性能になったため、新たに撮像可能になったものや撮像環境についてご紹介します。

今回の機種の改善点はより快適な撮像環境となったことです。磁石の開口径が広くなり、大きく穴の開いたコイルで圧迫感が和らげられます。検査中の騒音もかなり抑えられ、撮像スピードも特定のシーケンスでは10倍にあがりましたので、狭い所が苦手な方でも安心して検査を受けて頂けます。一例として右のMRIプラークイメージングをご紹介します。



### ◎MRI プラークイメージング

頸動脈の動脈硬化性プラークのMRイメージングでは血管内腔の信号を抑制する方法で動脈壁を撮像します。心電図同期を用いる必要がないので撮像時間は比較的短く、撮像断面やコントラストの自由度が高い撮像法です。



横断像だけでなく頸動脈の長軸に平行な撮像も容易で、プラークの範囲を正確に把握することができます。信号の強さで不安定プラークかどうかとも判別可能です。

## 外来診療体制表

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前	当日受付①	牛山 雅夫 (10時迄) (脳神経内科)	牧内 雅信 (11時迄) (循環器内科)	小平 睦月 (循環器内科)	関口 恭弘 (消化器内科)	塚平 俊久 (消化器内科)	交代制
		当日受付②	鷺見 順教	伊壺 友希	前澤 浩 (第2週)	八木 ひかる	八木 ひかる	
		当日受付③	伊壺 友希	鷺見 順教	平林 直章 (第1・3・4・5週)	原 悠太	土井 栄太郎 (第1・3・5週)信大	
		当日受付④			鷺山 久之 (第2週)		古川 遼 (第2・4週)信大	
	予約診療		平林 直章	北原 明倫	北原 明倫	伊壺 友希 鷺見 順教		
午後	予約診療	伊壺 友希		北原 明倫	伊壺 友希 (第1・2・4・5週)	八木 ひかる 北原 明倫		
夜間	予約診療			塚平 俊久 (第2週) 清水 信明 (第2週)				
循環器	午前	予約診療	小平 睦月 (第1・3・5週)	牧内 雅信 小平 睦月	牧内 雅信	牧内 雅信 小平 睦月 (第2・4週)	牧内 雅信	清水 信明 (第4週)
	午後				清水 信明 (第1・3・4・5週)			
消化器内科	午前	予約診療	塚平 俊久	関口 恭弘	塚平 俊久 関口 恭弘	塚平 俊久		関口 恭弘 (第2週) 塚平 俊久 (第4週)
	午後					塚平 俊久		
脳神経内科	午前	予約診療			牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫	牛山 雅夫 (月1回)
	午後		牛山 雅夫					
呼吸器内科	午前	予約診療						八木 ひかる (月2回)
	午後				前澤 浩			
腎・内分泌	午前		熊谷 悦子				原 悠太 横田 昌 (第1・2・4・5週)	
	午後	予約診療	熊谷 悦子 (DM) (第2・3・4・5週) 原 悠太 (第1・3週)	熊谷 悦子 (CAPD)第1・3週 (HDD)第2・4週	熊谷 悦子 (第1・2・3・5週は CKD外来あり)			熊谷 悦子 (第1週)
嚥下外来	午後	予約診療		福村 直毅				
整形外科	午前	予約診療	平林 直章					
もの忘れ	午前	予約診療				牛山 雅夫		
	午後		北原 正和					
精神科	午前				服部 美秀			服部 美秀 (月1回)
	午後	予約診療			服部 美秀			
	夕方				服部 美秀			
脳神経外科	午前	予約診療		北原 正和		北原 正和 (第1・3・5週)	北原 正和	
	午後			北原 正和	前澤 浩	北原 正和		
外科	当日受付		本田 晴康	赤澤 智之	交代制	津澤 豊一	津澤 豊一	休診
	午前	予約診療		本田 晴康	林 誠一 (振動病)第1・2・4週 熊谷 嘉隆		赤澤 智之 (第1・2・4・5週)	本田 晴康 (第3週)
	午後	予約診療	熊谷 嘉隆		熊谷 嘉隆	熊谷 嘉隆		
乳腺	午後	予約診療	本田 晴康 (第3・偶数月) 赤澤 智之 (第3・奇数月)					
肛門外来	午後	予約診療					本田 晴康 (第2・4週)	
泌尿器科	午前	当日受付	熊崎 匠	熊崎 匠		熊崎 匠	熊崎 匠	熊崎 匠
形成外科	午前		矢高 森人				矢高 森人	
	午後	予約診療		矢高 森人	矢高 森人			
小児科	午前		和田 浩	和田 浩	和田 浩/鷺見 順教	和田 浩	和田 浩	和田 浩/[休診]
	夕方		和田 浩				和田 浩	
禁煙外来	午前	予約診療				八木 ひかる		

